

大津市民病院大学レポート

滋賀県がんと向き合う週間 協賛事業
大津市民病院大学 公開講座



2月5日(金)に、大津市民病院9階会議室にて、大津市民病院大学公開講座を開催いたしました。

この講座は、滋賀県がんと向き合う週間協賛事業で、講師は当院健診センター所長・外科医長の洲崎 聡 医師、テーマは、「受けていますか？がん検診～がんの早期発見、早期治療のために～」、参加者は院内11名、院外42名の計53名でした。

内容は、日本のがん事情から、がん検診の効果が科学的に証明されている主要5大がんやその検診を中心に当院の健診センターについても触れられ、受講者の皆様からも、

「丁寧に分かり易い内容で、早期発見の大切さがよく分かった」「内容が充実し、とても勉強になる講座だった」と大変好評でした。



がん検診ススメ隊



滋賀県のがん検診受診率のアップを目指して、がん患者の団体や、医師会、県内の企業で結成した団体で行っているキャラバンイベント、がん検診ススメ隊が、2月6日(日)大津市のフォレオー里山で開催されました。

がんに関する〇×クイズやちびっこじゃんけん大会、Lefaのコンサートの他、医師によるトークショーが行われ、当院の加納 正人 医師が出演しました。

大津エリアでは胃がん・乳がん検診の受診率の低さが目立つということで、若いときからのがん検診の受診を呼びかけていました。

お買い物途中の方も立ち止まり、熱心にお話を聞かれている姿が印象的でした。



2年目研修医からの手紙



医師会の先生方には地域医療研修などで大変お世話になりました。ありがとうございます。

おかげさまでもうすぐ無事2年間の研修を終えることができます。そこで2年目研修医より、それぞれ学んだことや気づいたことを述べさせていただきます。



岩本 久幸

2年間の初期研修を修了させていただくにあたり、この2年間の研修生活を振り返ってみると救急でプライマリケアを学び、内科研修で入院患者の検査・治療・退院に際して必要な地域連携について学び、地域研修で退院後の通院や在宅医療を学び、集中治療・麻酔・外科研修で重症患者の管理や周術期管理を学びました。

各科のローテートでは外科を志す上で今後学ぶ機会の少ない内科系の疾患を始め、多くの疾患を学ぶ機会に恵まれ充実していたと思います。それでもまだまだ経験も浅く、知識も十分ではありませんが、多くの患者様から学ばせていただき、諸先生方からの熱いご指導を受けて邁進してきたこの2年間得た知識や手技、心構えをもって、消化器外科医としてさらに精進していきたいと思っております。

第23回総合内科症例検討会を開催します

日時: 3月10日(木) 17時30分～(約1時間)

場所: 大津市民病院9F 大会議室 A・B

テーマ: 「有痛性の皮疹と肝障害のため紹介受診した
高齢女性の一例」

症例提示: 臨床研修センター 藤田 覇留久 研修医

公開講座としておりますので、院外からも多数のご参加をお待ちしています。

地域の皆様には日頃よりお世話になり有難う御座います。

私はこの2年間、大津市民病院で初期研修をさせて頂きました。

学生から医師になり、大津の皆様には尽力しようと望んだ初期研修でしたが、蓋を開けてみれば患者様や先生方から教わることばかりでただただ感謝いたしております。地域の皆様には日々の診療を通しては勿論、地域医療実習では実際に地域医療に参加させて頂くことでとても貴重な経験をさせて頂きました。

患者様から周りのスタッフの方々まで心温かい方ばかりで、大津市民病院での研修は楽しく、とても充実した日々となりました。

4月からは小児科に進むことを決めております。小児救急医療を学びたく、来年度からは滋賀県を離れますが、一人前になった暁には大津の皆様には恩返しができるかと思っております。

2年間大変お世話になりました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

木下 正和

